

## 8-4-38 品質委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動目標

令和元年6月の組織改編により会員企業の品質確保・向上に資する活動を所掌する品質委員会が新設された。マネジメントシステム委員会傘下であった品質向上専門委員会と技術委員会傘下であった照査特別WGを当委員会に移管し、設計エラーの実態把握、エラー防止に向けた品質確保・向上策の提案、会員企業の意識啓発、発注者への改善要望等を主な活動目的としている。

#### (2) エラー事例の実態把握

照査特別WGでは平成12年度から設計エラーの事例を収集しており、令和元年度までに9分野で1,859事例が集まっている。これらのエラー事例を14のエラー区分に分類するとともに、分野毎の傾向を整理した。合わせて、重大エラーと位置付けられる建コン賠償保険金支払事案265件の事故内容を収集し、重大エラーの発生件数が多い道路、道路構造物、橋梁、河川構造物の4分野を中心にエラー分析を行った。

#### (3) 品質確保向上策の実態調査

国交省が推進している下記の品質確保向上施策の実施状況を会員企業へのアンケートにより調査するとともに、問題点・課題を整理した。

- ①-1 詳細設計照査要領
- ①-2 赤黄チェック
- ①-3 照査技術者による照査報告
- ②業務スケジュール管理表
- ③ワンデーレスポンス
- ④条件明示チェックシート
- ⑤合同現地調査
- ⑥3者会議

#### (4) 品質確保向上策の改善検討

エラー事例から整理したエラーの発生要因と各種品質確保向上策の関係を整理するとともに、品質確保向上策の実効性を高めるための改善策を検討した。

(5) 品質向上推進ガイドライン (GL) の改訂検討  
平成23年7月に発行された品質向上推進GLは、会員企業の品質確保向上のための基本的な方向性が示され、一定の役割は果たしてきたが、未だに軽微な設計エラーのみならず、重大エラーが発生している。GL作成以降の活動成果や昨今のICT技術の進展を踏まえ、今後の品質確保向上に向けたGL改定方針を検討した。

#### (6) 会員企業の意識啓発

品質セミナー（全国9支部開催）や品質講習会を通じて会員企業の品質確保向上に対する意識向上を図った。

なお、品質向上専門委員会では、令和元年7月開催のマネジメントセミナー第5講「品質の確保・向上に向けて」を担当し、各会員企業の事例をもとにした品質向上策を提案している。

#### (7) 発注者への要望と提案

上記活動成果については常任委員会、技術部会、未来塾対応WGで審議・報告するとともに、令和2年度「要望と提案」や未来塾協議資料に反映している。

### 2. 次年度の活動

マネジメントセミナーのプログラムであった品質向上に関する講義を品質セミナーに移行し、品質セミナーをエラー防止と品質向上に関する内容に改め開催する。

品質確保策の改善提案を継続するとともに、品質向上推進GLの改訂版を完成させる。

(品質委員会委員長 中嶋 規行)